

# ニュースレター No.21

発行：2002年8月

## ◆地域の人たちに愛される公園へ

### ～どんぐり林公園自然観察会～

どんぐり林公園で石原タイム

「なら・くぬぎ・もみじは 是えて〜♪」この校歌にうたわれているように、石原小ができる以前には、この周りは雑木林であったことが伺うことができます。

今回、この雑木林塾のどんぐり林観察会に参加して、タイムスリップをしたような思いをしました。

この雑木林で、本来この里山がはたしていた薪炭林、落葉(クズ)をつかった堆肥づくりなどを子供たちに体験させることができればよいなあと考えてみました。

また総合的な学習の時間(石原タイム)には、炭焼き体験、カブトムシなどの採集、樹木や植生を生かしたネイチャーゲームなどを行うことにより小学生にもなじみやすい、私たちの街の雑木林—どんぐり林公園となることでしょう。(石原小学校長 寺木秀一)



ロープでジャングルジム



ロープでプランコ



みんなで炭ち焚返し

#### どんぐり林公園で観察した樹木

コナラ	サクラ
クヌギ	ムクノキ
エゴノキ	イチヨウ
シュロ	コウソ
サワラ	カナメモチ
イヌシデ	ウメ
エノキ	サカキ
クワ	ニシキギ
ニワトコ	ピラカンサ
トウネズミモチ	ゴズイ
ネズミモチ	ニガキ
ハンノキ	フジキ
イロハモミジ	計 25 種類

#### —参加者の声—

- ・木がたくさんで涼しくとても気持ち良かった。
  - ・切り株の椅子とかベンチが欲しい。
  - ・観察路(遊歩道)を作り保護する部分を囲むなど林床を大切にしたい。
  - ・下草に野草を増やしたい。
  - ・楽しかった。
  - ・自然観察会を定期的に開き子どもと大人が集まれる場所に。
  - ・子どもたちがいつも来て遊べるようにしたい。
- (富士見町地区協議会 アンケートより)

## ●ちょうふの自然

この2月～自然と共生する調布をめざして～「ちょうふ環境市民懇談会：第1回シンポジウム」に参加して「調布里山ものがたり」をみてから、すっかり我がまち・ちょうふに魅せられてしまった。長いこと調布に住んでいながら自分の知らない「ちょうふの自然」がいっぱいあることに気づき、とにかく自然を知ることからの思いで観察を始めたところである。調布は緑が多いと人から羨ましがられるが、この緑も確実に蝕まれつつある。特に東京都の緑地保全地域指定を受けている「国分寺崖線」の破壊や、涸れゆく「湧水の野川」をみると、もっと自然保護を強化して早く復活させなくてはとの思いにかられる。市民と行政とのパートナーシップにより「人と自然と共生する調布をつくる」ため、自分も「緑と水と自然環境」をキーワードに、学習とボランティア活動に努めようと踏み出したところである。(辻)

—「ちょうふの自然」は、調布の自然を調べている環境モニター活動の参加者の紀行文です。

#### —内容—

どんぐり林公園自然観察会  
調布市内の活動報告  
特集「環境モニター調査報告」  
イベント情報

活動がいっぱい！今号は、いつもよりページ数を増やして発行しました。

## 調布市内での活動報告！

### 雑木林塾 ～フィールド調査～

新たなターゲットを求めて動き出しました。6月22日(土)、青渭神社前に集合した雑木林塾1年目OBの面々は、2年目はどこの雑木林を学習と維持管理の対象とするか自分達の足で確かめようとはりきっていました。

手始めは深大寺周辺地区です。カルメル会修道院裏手A氏所有の雑木林、深大寺自然広場西側および東側の樹林地、キャンプ場斜面の計4箇所でした。

用意された調査用紙片手に樹木や林床植物の種類と繁茂の状態、土や日当たり、周辺施設や交通手段、管理作業の難易度など次々と書き込んでいきました。最初の調査だったので予定以上に時間を取ってしまいましたが、何故か充実した気分を味わえました。次回は8月3日、仙川駅北地区です。



調査票を片手にわかる植物を記録していきました。

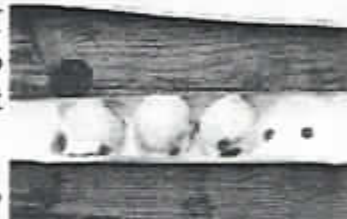
### 成人学報「おこじゃらし」

#### ～夏の植物観察とパン焼き～

6月22日(土)まずは、野草園前自然広場にて樹木の観察をしました。ちょうど春に咲いた花が実をつける時期です。いろんな種類の木の実を観察することができました。

観察後、かに山キャンプ場に移動し、昼食に向けて、竹筒を使ってのパン焼きに挑戦しました。思ったより気温が上がらず、パン生地のだんごに時間がかかり、でき上がった時には1時をだいぶまわってしまいました。自分で焼いたパンはおいしく、一緒に作ったクワの実のジャムも好評でした。

最後に使った竹を片付けながら、花炭作りをしました。でき上がったマツボックリやモミシバフウの炭は、みんなで分けて持ち帰りました。いろんなことを体験できた楽しい1日でした。



焼きあがったレースパン

### 布田崖線緑地を考える市民の会

6月23日(日)布田崖線緑地の解放日でした。安全で居心地の良い場所になるように、瓦礫を拾い集めたり、歩道に張り出している枝木を伐採したり、ごみ拾いをしたり等の作業をしました。

作業後下石原地域福祉センターに移動して、今後の開放日について話し合いました。8月25日の開放日には、楽しいイベントを計画していますので、是非お越しください。



### ちょうふ DE 田んぼ日記その15「田んぼは生き物の楽園だ！」

梅雨空の下、稲はすくすくと育っています。昔からお百姓さんは「稲をつくる、米をつくる」とは言わず、「稲ができる、米がとれる」と表現、稲を育てるのは人間だけでなく、日の光や雨・水路の水や土の力だとわかっていたからです。田んぼの学校も田植えが終わって一段落、草が生えない水田は季節はずれの農閑期といったところ。一方、水が張った田んぼは生き物たちにとっては格好のすみかです。7月7日の生き物観察の下見に行けば、浮き草やポウフラや豊年エビが異常発生。あわててポウフラ退治にメダカやモツゴを放流するが、自然界の平衡作用でポウフラは大量に死滅。観察日には、オタマジャクシ、ガムシやゲンゴロウの幼虫、豊年エビ、ミジンコを観察することができました。ハウネンエビが、ガムシに食べられる様子に驚きを見せる受講生。いまだにハイイロゲンゴロウの捕獲失敗が悔やまれてなりません。(受講生兼通信員 中原)

観察会の様子



### 野川・里山探検隊 ～野川観察とネイチャーゲーム～

6月29日(土)、今年度2回目の野川・里山探検隊を行いました。参加者はこども45名おとな46名、お手伝いをしていただいたサポーターが8名、講師は神代農場の小池さんでした。

午前中は野川に入って水の中で生活している生き物(トビケラ・ヒル・ミズムシなど)を観察しました。またサポーターのNさんが朝に仕掛けたセルピン(魚をとるしかけ)には小さな魚(モツゴ・メダカ・フナ・オイカワなど)がたくさん入り、こども(大人も!)たちは大喜びでした。

午後は野草園前の広場で目隠しをして木や草にさわって自分の歩いたコースを当てるというゲームをしました。目隠しをして歩くことにこどもは興味を示していたようです。



次回は8月17日にデイキャンプを行います。

### 環境リーダーOB会

7月14日(日)国分寺崖線を調べて30年という富田先生を講師にどんぐり林公園で自然観察会を行いました。どんぐり林公園はこれまでに雑木林塾連続講座で観察会や、落ち葉による腐葉土作り、樹木調査などが行われた場所です。現在は地域の方が主体となって公園の管理作業に向けて準備が進んでいます。この日の観察会では、樹木調査で不明だったものを同定することができ、今後の公園のあり方や、シンボルツリーや観察路などについて参考になるお話を聞くことができました。

観察会の後、環境リーダーOBの今後の活動に向けて話し合い、野川・里山探検隊へのサポート活動を段階的に進めていくことが確認されました。

### 入間・樹林の会 ～マテバシイの伐採～

7月21日(日)梅雨明けの厳しい夏日にもかかわらず、熱心な樹林の会の仲間15名が結集、樹林内の底地に位置するCゾーンに繁茂するマテバシイの伐採に着手しました。

この伐採はかねてより「明るく親しみ持てる雑木林」をめざして行動を起こしているものです。陽当たりが悪く、暗かった樹林の中が一挙に明るくなり、湿った地肌の蘆葉の種類まで木漏れ日が届くようになりました。伐採したマテバシイは40数歳と意外に若いのが印象に残りました。すでに、この日を待ちかねていた次世代のコナラなどの苗木がいっぱいに若葉をひろげていました。入り口付近に階段をつけたりもして、5年先、10年先の変身を遂げた憩いの雑木林が楽しみです。



マテバシイ伐採の様子

#### 道具類の倉庫設置

山仕事に必要なノコ、ナタ、カマ、剪定バサミ、スコップなど新品の道具類が揃いました。倉庫は、入間地域福祉センター駐車場内です。環境保全課の備品ですが、管理は入間・樹林の会と協働で行います。

### グループ紹介 その3

## 雑木林塾

#### ① 目的

市環境保全計画にもとづき、市民・事業者の自主的事業として武蔵野の原風景である「雑木林」の復活を目指し学習会や調査活動を行います。

#### ② 設立の経緯

市の管理する公園や保全地区などの雑木林を対象として関心のある市民が集り、雑木林の維持管理または回復の方法や技術を習得し、その後は自主的なグループによって対象地域の雑木林を管理運営していこうとするものである。そして、第1回の対象地として「どんぐり林公園」が選ばれた。

#### ③ これまでの主な活動

「どんぐり林公園」での学習は終り、その後の管理運営

については、同公園に由来から関係の深い地区協議会と話し合っている。地元との協力が必要なことから、管理作業や観察調査の一部をイベントとして実施し、多くの方々の参加を得ている。

#### ④ これからの活動予定

第2年次講座のため対象とする雑木林の選定調査を実施中。深大寺周辺地区に次ぐ2回目調査として仙川・緑が丘地区を8月3日調査の予定。9月までに選定作業を終え、新たに塾生公募の上11月から講座を実施する。

#### ⑤ ひと言アピール

雑木林での管理作業は「癒し」と「ダイエット」、二重の効果があります。是非参加してください。

#### ⑥ 問合せ先

調布市環境部環境保全課

# イベント情報

参加しませんか？

## ● 野川・里山探検隊 サポーター事前学習会

日時：8月4日(日) 14:00～  
 集合場所：かに山 (雨天中止)  
 持ち物：筆記用具、図鑑、虫よけ対策、軍手、長袖長ズボン、観察用具、空のペットボトル2ℓ 1本  
 要申込み：環境保全課まで(高校生以上)・定員なし  
 調布の自然に子供たちが親しんでもらえるよう、遊びを通して環境学習する場を市では提供しています。子供たちの活動をサポートしてくれる高校生以上の方を募集しています。一緒に活動してみませんか。8月17日実施するデイキャンプの事前学習を行います。

## ● こどもエコクラブ

今年度は昨年度に引き続き、「葉っぱ調べ隊」と「自然調べ隊」を中心に活動します。

- ・8月10日(土) 葉っぱ調べ隊  
16:00～ 市役所集合後駅前前の樹木調査
- ・9月14日(土) 葉っぱ調べ隊  
10:00～ 樹木調査と壁新聞作り
- ・9月28日(土) 鳥と自然調べ隊  
9:30～ 京王多摩川駅前 多摩川周辺

※小中学生の会員を随時募集しています。申込みは環境保全課まで

## ● 入間・樹林の会「夏休み自然教室」

日時：8月18日(日) 9:30～16:00  
 集合場所：入間町地域福祉センター(小雨決行)  
 持ち物：弁当、水筒、筆記用具、虫除け対策、軍手、汚れてもよい服装  
 入間町一丁目樹林地で、木を伐採。いすやベンチづくり、落葉だめの掃つくりチャレンジ。子供たちには初体験になるのでは。カブトムシもたくさんいるかも！  
 ※9時30分、または13時に集まってください。

## 調布市からのお知らせ

### ● 省エネ推進市民会議メンバーの募集

地球温暖化対策に向けて、調布市における省エネ問題を検討するための市民会議メンバー(無償)を募集します。  
 資格：調布市に在住・在勤の方(定員：10人程度)  
 任期：8月下旬から3月末まで(5～6回を予定)  
 申込み：省エネについての考えを400字程度にまとめてください。(×切り：8月12日必着)  
 申込み先：環境部環境保全課

#### ◆ 次回ニュースレター編集作業 ◆

日程	内容	内容
8月26日	9月号編集作業	どなたでも参加できます。初心者でもパソコンの使い方なども含めて指導します。一緒にニュースを盛り上げましょう！
9月2日	9月号発送作業 10月号編集会議	
9月25日	10月号編集作業	
9月30日	10月号発送作業	

9月はこども向けのニュースレターを発行します。ついては、9月号はこどもに向けて発送いたしますので、通常の発送はいたしません。お手数ですが、図書館・地域センター・公民館等で入手いただくようよろしくお願いいたします。  
 ※ 場所未定、時間は13時30分から2～3時間程度  
 事前に環境保全課へお問合せください。

## <会議のスケジュール>

日時	場所	活動名/内容
8月5日(月) 18:30～20:30	市役所3階 第1会議室	環境モニター 世話人会 ガイドウォークの反省を行い、これからの活動について検討
8月6日(火) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	入間・樹林の会 世話人会 マテバシイ伐採の反省を行い、自然教室のプログラムを検討
8月8日(木) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	雑木林塾 運営会議 これまでの調査結果をまとめ、連続講座の内容について検討
8月12日(月) 18:30～20:30	市役所3階 第1会議室	環境モニター 連絡会 これまで行ってきた調査の集計、まとめを実施
9月11日(水) 18:30～20:30	市役所6階 図書室	環境市民懇談会 連絡会議 環境保全活動の情報交換や懇談会のこれからの取り組みを検討

ちょうふ環境市民懇談会では、日常的に情報の交換を行うためにメーリングリストを立ち上げました。

お問合せは尾辻 (e-mail: kp5y-otj@asahi-net.or.jp) まで

## ● 凸凹山公園の自然と遊ぼう

日時：8月25日(日) 10:00～13:00  
 集合場所：凸凹山公園 (雨天中止)  
 持ち物：水筒、筆記用具、虫除け対策、軍手、観察用具  
 「水」をテーマにプールを作ったり、竹の水鉄砲やしゃぼん玉遊びを予定しています。夏休みの1日、思いきり遊ぼう。

## ● 野川の水生生物を調べよう

日時：8月24日(土) 9:45～14:00  
 集合場所：御塔坂橋児童公園  
 解散場所：調布ヶ丘地域センター (小雨決行)  
 持ち物：弁当、水筒、筆記用具、替替え、水に入るための靴(サンダル不可)  
 野川の『憩いの水辺』と佐須用水が流れ込む『細田橋』付近で、水の中に住む小さな生き物を採集して、その種類から野川の水質を測ります。夏休みの自由研究にも。  
 要申込み：身近な川を見守る会 0424-87-3087

## 編集後記

ちょうふ環境市民懇談会が設立した時からこのニュースレターを発行してきました。最初は、イベント情報と連絡会議の簡単な議事をまとめたものですが、強力な市民パワーのおかげで、充実したものに生まれ変わりました。多くの人に私たちの活動を知ってもらいたいと思います。今までのようには行きませんが、みんなの活動が充実するようにこれからもお手伝いしたいと思います。(坂本)

紙面の都合上詳しい情報を掲載することができません。イベント等の詳細についてはお気軽に下記へお問い合わせください。また、お便りなども受け付けています。

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課 (荒井・倉林)  
 TEL: 0424-81-7086

E-mail: kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp  
 発行：ちょうふ環境市民懇談会

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

# 特集

# ちょうふの自然をみんなで調べよう！ 秋の野草 中間報告

調布市環境モニターは、西暦 2000 年の調布市の自然環境マップを作成しました。これは、調布全域のみどりの種類を調査し・記録したもので、環境モニターが集めた情報を市民の皆さんにわかりやすく伝え、調布の自然環境を知るきっかけとなるようつくったものです。そして、2001 年の秋からみどりの状況をさらに細かく知るために、「ちょうふの自然しらべ」を実施しています。今回の特集は、昨年調べた秋の野草調査を中心にこれまで調べたことを報告します。なじみのない植物もあり、わかる範囲の調査となりましたが、その結果から、群生地や生育する環境などを、気がついたことを紹介します。



## ●ツルボ

ちいさなピンク色の花をたくさん咲かせるとてもかわいらしい野草です。花が咲かないと似ているヤブランと見分けがつかず、深大寺自然広場や上ノ原公園など林の下で見られる他、多摩川沿いに群生する場所がありました。園路には草地、土手、海岸にもごく普通に生育するとあり、実はどこでも見られる強い植物のようです。

## ●ヒガンバナ

最近では園芸種のピンクや黄色の花を見かけるようになったポピュラーな植物です。畦や堤防、墓地、林縁などに群生し、9 月中旬ごろに赤い花を咲かせます。多くの場所で観察できましたが、昔ながらの風景を思い出したのは深大寺自然広場のかに山と田んぼの間です。環境による影響か、場所によっては花の形や色が微妙に違うように感じられます。

## ●キツネノカミソリ

一見、ニッコウキスゲと似ていますが、ヒガンバナの仲間の植物です。開花はヒガンバナよりも 1 ヶ月以上早く、お盆前に見られます。市内でよく知られている群生地は深大寺自然広場の 3 月にはカタクリが咲く場所です。また、入間町一若葉町の国分寺崖線の林の中でも見ることができます。名前は葉っぱをキツネが使うカミソリにたとえたようです。

## ●セイタカアワダチソウ

北アメリカ原産の帰化植物で、他の生育を阻害する雑草として有名です。地下茎で盛んに増え、種はタンポポのように風で運ばれるのでどこでも繁殖します。調査では道端や駐車場、土手、空き地等に多く見られました。荒地を好むようです。他の植物を寄せ付けられない毒を出しているのですが、自家中絶で減っているそうです。

# 「ちょうふの自然しらべ」 この1年間で調べた植物

環境モニターの調査は、誰もがわかるように特徴的な植物を対象にしています。ただし、中にはなじみのないものも…。でも、実はなじみがないと思っていたものも、よく観察すると身近なところで発見することもあります。夏の調査はこれからです。興味をもたれた方はぜひ参加してください。（「」内のものが調べた植物です。）

## ◆ 冬の調査 テーマ「樹木」

冬は落葉樹が葉を落とす季節です。この時期は、草花が少ないため、樹木を中心に調べました。よく目立つ実、藪の中にある低木、葉っぱがついているとわからない木などを調べました。

赤い実が房状に垂れ下がり、ハート型の葉っぱが特徴的な「イイギリ」、雌雄異株で実のついていないオスの木はあまり見つけられませんでした。ケヤキなどの大木に寄生している「ヤドリギ」、品川通りには、たくさんのヤドリギのついたケヤキが見つかりました。庭木にもされ、放置された雑木林に増えてきている「ヤツデ」、草の枯れた藪の中も調査しました。昔は、調布でも木材の生産として「スギ」やヒノキが生産されていました。崖線にはアカマツ、多摩川のそばにはクロマツと市内の「マツ」は、分布が大きく分かれています。

## ◆ 夏の調査 テーマ「代表的な野草」

夏の調査は調査の開始がちょっと遅れてもう散りかけているものもありますが、これから調査が始まります。里山に普通に見られる代表的な野草を調べました。

夏の雑木林で目立つ白い「ヤマユリ」。黄橙色で八重咲きなのは「ヤブカンゾウ」、八重でないのは「ノカンゾウ」。早いものは6月ごろから見られる「ネジバナ」芝地に多いようです。雑木林の天敵の「クズ」、意外に知られていないようですが、花はグレープの香りがします。昨年、秋は調査開始が遅れ十分に調べられていない「キツネノカミソリ」も再調査します。



キツネノカミソリ

## ◆ 春の調査 テーマ「少なくなった野草」

植物たちがいっせいに目覚める季節、昔は普通に見られた野草を調べました。

最近では「つくし（スギナ）」採りをしている人はあまり見かけません、市内では数少なくなったと思われていましたが、まだまだ線路沿いや空き地にはたくさん生えています。名前も知らない、姿も知らないと思いきや、実は庭にも生えていた「ムラサキケマン」名前がわかたら草取りもできなくなったとか。田んぼには、おいしい春の野草「セリ」がたくさん、来年もまた味わいたいな。改めて考えると少なくなったと思った「シロツメクサ」、でも多摩川ではまだまだ健在。小さな淡紫色の花が咲く「ムラサキサギゴケ」はあまりにも小さく調査にひと苦労、深大寺自然広場の高速の北側には大群落がありました。

## ◎ 環境モニターの眼から見た調布の野鳥

南に多摩川、市内には野川、仙川、入間川が流れ東には、東には名刹深大寺、そして多摩川に平行するように国分寺崖線・布田崖線が横切っていることから都心に近い多摩地区とはいえ、まだまだ多くの野鳥が見られます。

特に深大寺や入間町、国分寺崖線沿いには山野の鳥が、多摩川や野川には、カワセミや水辺の鳥が併せて数種類も確認できます。

しかしながら相続等による屋敷林の分割化も影響しているのか、野鳥たちの飛来する場所が減る傾向にあり、せめて公有地では野鳥や小動物たちの住処がなくなることにないようにと。

環境マップを活かした、次世代を見据えた環境モニター活動をすることが必要と感じました。

## ☆☆☆環境モニターのこれからの活動☆☆☆

- ・ちょうふの自然しらべ……夏の調査を行いながらこれまでの調査をまとめます。調査人数のばらつきがあり十分な調査とはいませんが、作業に協力してくださる方を募集します。また、新しく調査の企画も考えていきます。
- ・ガイドウォーク……昨年からはじめた「まち歩き」です。身近な自然を環境モニターが案内、新しい発見があるでしょう。ぜひ参加してください。今年度は、7月27日（終了）、11月25日、3月10日に行う予定です。
- ・私の気になる木……12月まで樹木の調査をします。近所にある好きな木や残したい木、不思議な木など調査票に記入してお知らせください。たくさんの情報を集めて、今後の環境保全活動に生かしたいと思えます。

### ～いつでも環境モニターを募集しています～

環境モニターの活動に参加してみると、調布の中で今まで見えてこなかった自然が意外に豊かに残っていることが分かります。

国分寺崖線・布田崖線・野川・多摩川・用水路などの自然の中に、武蔵野の風鳥や動植物がまだ残されています。そんな調布の自然をいま、観察し記録することによって調布らしい環境を守っていくための提言をしたり、また何年か先の変化がわかったりもするでしょう。また、現在でも空気や水、騒音など環境基準を達成していない環境汚染の問題もあります。

私たちの住む調布の自然を保護し環境をチェックする活動に参加しませんか？調布の環境に興味のある方ならどなたでも参加できます。参加の方法は、調査票に記入し情報提供をすること、環境モニター活動の運営に参加する方法があります。また、みなさんが調べてみたいことも募集しています。



2002年1月14日に行った野鳥調査

原稿：調布市環境モニター  
（角頼・杉山・里・近藤）

◆お問合せ◆

調布市環境部環境保全課  
TEL 0424-81-7086